

ゆめはな だより

No.22

contents

Top News

「感染症対策の継続と 法人体制について」

2P/3P 新年度の体制について

4P 年間予定について

夢花アートワーク展のご報告

OT だより

2021
APRIL
4



▲コロナ対策を徹底して「はじまりの会 & 新通所者歓迎会」を行いました

予防対策に伴う認知やQOLの影響など、考慮すべきことは沢山ありますが、長期に渡る緊急事態宣言が解除されても、感染力の強い変異型ウイルスへの警戒など、今後も「感染症を持ち込まない、拡げない」事を念頭に

PCR検査については、利用者の方に支援者の側から感染を広げるリスクを回避する為と、症状が無くとも陽性であった場合に、急に発症し、重症化してしまうリスクがある事を踏まえて、職員を守る意味でも、全員の検査を行う方針を取りましたが、ワクチン接種に関しては、その効果、安全性、基礎免疫などを含めた議論もあり、本人の意思による判断を優先する事となりそうです。

一年間、新型コロナウイルス感染の拡大による影響を受けながら、未だにその収束が見通せない中で、新年度を迎えました。事業部では神奈川県からの支援により、所属する職員全員を対象に、PCR検査を3月に2回連続して実施しましたが、幸いにも107名全員が陰性でした。現在、医療従事者への予防接種が行われており、高齢者と施設入居者へのワクチン接種も順次行われるようですが、療育手帳を所持している人が一般の人よりも重症化のリスクが高いとのことで、優先的な接種の対象となっているとの報道もあります。

命を守る行動を

感染症対策の継続と 法人体制について

夢花事業部部長
梶山 則行



▶「せせらぎ沿線事業部の「あゆ工房」(上)と夢花事業部の「夢花工房ばい」外観画像。

今回、法人の方針として、別々の事業部として運営をして来た「夢花事業部」と「せせらぎ沿線事業部」を一つの事業部として統括的な運営をする事が、理事会で決定されました。法人理念の実践の為に、出来ることから目に見えた協力を職員間で行いながら、それぞれの事業部の強みと弱みを補い合い、コロナ禍で予想される福祉制度や予算の変更にも対応して、責任を果たす努力をしていきます。

なごみ福祉会が創立40年の節目を経過しますが、法人の理念の根底に流れている精神は「一人ひとりを大切にすること」と「安全と命を守る事」であると、事業部では理解をして来ました。それは、「障害の有無に関わらず、地域でその人らしい暮らしができる」目標と合わせて、利用者、支援者に隔ての無い内容だと思えます。

新年度体制について

職場の内外、各ご家庭内でも、気を緩めずに予防対策を徹底して下さいように、改めてお願い致します。

●夢花事業部年間予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夢花事業部 全体行事						夢花感謝祭 9/18(土)						夢花アートワーク2022 2/11(金)
夢花工房 年間行事	1(木) 新年度 始まりの会		日帰り 旅行	健康診断 なごみ 保育園 納涼会 出店		夢花 感謝祭 健康診断	2(土) あゆまつり インフル 予防接種	インフル 予防接種	大掃除 忘年会	新年会		南生田小 コンサート なごみ 保育園 バザー 各出店
夢花工房 休日開催	29(木)	5(水)	5(土)	22(木)	9(月)	23(木)	2(土)	23(火)	18(土)	8(土)	11(金) 23(水)	21(月)
ドリーム	進級進学 のお祝い		室内工作	七夕 流し そうめん		夢花 感謝祭	ハロウィン		クリスマス 会	初詣	節分	卒業を 祝う会
生活ホーム						夢花 感謝祭			クリスマス 会	初詣		

※社会情勢により延期・中止等の可能性があります、それぞれの予定は念のため事前に確認下さい。



▲木エッセイ作品(左)とTシャツアート作品(右)

▲平面アート作品も多数展示

▲映像作品も好評でした!

▲工房グッズの販売ブース

夢花アートワーク展を開催

第1回夢花アートワークを開催致しました。コロナ禍での開催だった為、出来る限りの感染対策を行い100名以上の方にご来場いただきました。アート展示の他に夢花工房の自主製品の販売会も同時に行い、毎年大人気の「たまご雛」が完売となりました。今回展示した作品の中には、普段あまり絵を描く機会のない利用者様にもアートの楽しさを知ってもらいたく、職員と一緒に取り組んだ物もありました。実際に展示されているのを会場でご覧になって、ご本人が何より笑顔で喜んでいらしたのが印象的でした。今年度も2月11日(金)に第2回夢花アートワークを予定しております。皆さんの個性溢れる作品を是非ご覧ください。ご来場お待ちしております。文・長島



はじめまして！ OT便りを始める事になりました。夢花事業部では作業療法士(OT)が4人勤務しています。今回は、作業療法士はどのような事をするのかを少しご紹介します。

作業療法士は脳卒中による麻痺・骨折やケガをした人に対して「指を動かす・食事をする・入浴をする・料理を作る」など、日常生活を送る上で必要な機能回復をサポートします。また身体面だけでなく、子どもの発達障がいや加齢に伴う障がいに対して精神面のケアを行ない、うつ病や統合失調症・薬物依存の方々に対しても心のケアをするなど様々な治療を行います。障がいがある「ない」に関わらず、その人がその人らしく社会で生活ができるように作業を通して関わる医療のお仕事です。

編集後記

どんな状況でも桜は綺麗に咲いて、私達を癒してくれます。さあ、新年度が始まりました！工房では新しい利用者さん、職員も加わります。ホームでは新ホームができて、新しい生活が始まっています。始まる時はいつもドタバタして身体が悲鳴を上げますが、なんだか心がウキウキしてそれすら心地良く感じます♪いい年度にしましょう！ 文・中村

次号から、具体的にワンポイントアドバイスを掲載していきます。どうぞお楽しみに！ 文・大高



新年度の体制と 各部門より活動報告・抱負など

障害福祉サービス事業者BCCD

「Business Continuity Plan」(業務継続計画)の作成が義務化されました。

なぜ、障害福祉サービス事業者にBCCPが必要か
その意義を理解した組織づくりと
取り組みを実施します。

BCCDとは

大地震等の自然災害、感染症のまん延等、不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制手順等を示した計画の事

「障害福祉サービスは、利用者、家族等の生活を支える上で欠かせないものです。新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、障害福祉サービス事業者においては、流行時のさまざまな制限下であっても適切な対応を行い、その後も利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築する事が必須です。感染症の流行に備え、障害福祉サービスの業務継続のために平時から準備・検討しておくべき事や、発生時の対応をまとめたBCPの作成が重要です。感染症の流行時でも、障害福祉サービスを中断させないためには、障害福祉サービスの提供に必要な資源の確保が重要。準備は裏切らない。平常時にこそ準備を進める。必要な資源とは、職員、そして防護具消毒液等備蓄品などがある」(厚生労働省資料より抜粋)

●なごみ福祉会生活ホーム

ホーム

夢花・せせらぎ沿線事業部内での
柔軟な支援協力体制の構築

利用者の方々は年齢を重ねることで、身体的にも、精神的にも、能力的にも低下や退行は免れない状況です。個々の特性を把握し、小さな変化を見逃さず、どのような状況になっても安心した生活を継続できるように心がけています。特に今年度は夢花事業部のみならずせせらぎ沿線事業部との柔軟な支援体制を作り、利用者にとっても職員にとっても安心した支援につながるよう協力していきたいと思っております。

新年度を迎えるに当たり福祉職員として、日々の努力と当事者に寄り添う基本姿勢を大切に、多くのことを学んでいきたいと思っております。

皆さま、ご指導のほど宜しくお願いします。

ここ数年、消防法の改正によるスプリンクラー設置義務化に対応したホームへの移行に力を入れてきました。4月に新ホームが完成し、現在2階建ての2ユニットの建物が、計5棟(ホーム)となりました。利用者の方々の負担軽減に配慮した建物は、まだまだ必要と考えており、今後も安心して快適に過ごせるよう新設ホームの構想を進めたいと思っております。

新ホーム(ばれっとホーム・虹2ホーム)
新しいホームが完成しました。

(全室、スプリンクラー設置。非常時には自動的に消防署に通報されるシステムを構築)

※中段右写真 参照

文・川端



▲夢花事業部近くの桜

いよいよ今年も桜が咲き誇る季節がやってまいりました。いかがお過ごしでしょうか。お変わりなく過ごされているのであれば、何よりです。今年度の始まりには本当に大きな出来事が重なっています。引き続きコロナ禍の影響があることや、なごみ

は、引き続きコロナ禍の状況を見極めながら、そのなかで利用者の余暇活動の充実させるサポートをしていきます。

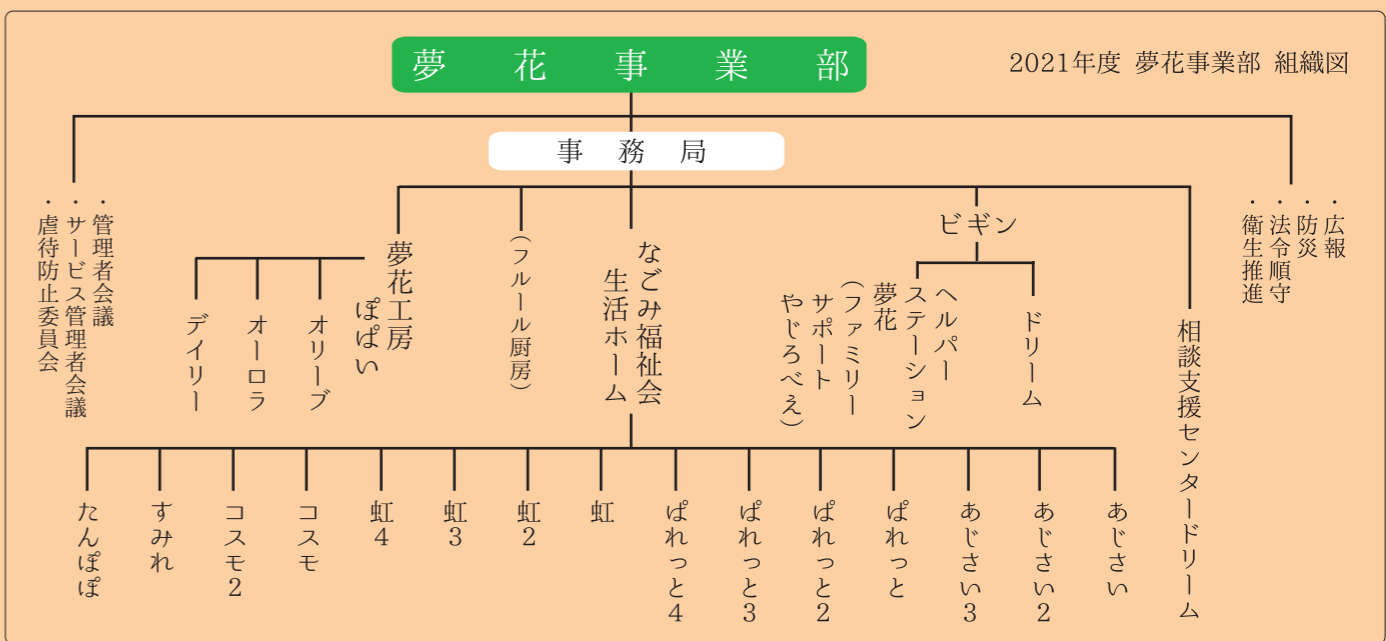
しばらくは前述の様々な状況の変化のため、落ち着かないであろうことが予想されます。しかしながら、常にできることを考え、ドリーム・ヘルパーステーションとにも利用される方が満足していただけるサービスを目指し、また職員も更によりがいを感ずることができるよう取り組んでいきます。

今年度もよろしくお願いたします。 文・釜山

●ビギン



▲外観は茶系と白のツートンカラーで内装は落ち着いたナチュラル系です



●夢花工房 ぱぱい

ぱぱい

今年度夢花工房は、新卒者1名を迎え総勢62名の利用者様で4月を迎えました。職員も新たに作業療法士の資格を有する方が加わり益々専門性の高いサービスの提供に努めて参りたいと思っております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、新しい生活様式を受け入れながらの施設運営を行っております。昨年度は予定しておりました販売会や夢花感謝祭、日帰り旅行などのイベントは次々と中止となってしまいました。利用者様またはそのご家族にご不便をお掛けする事もあったかと思いますが、引き続きご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願いたします。コロナ禍ですが、皆様の仕事や楽しみがなるべく縮小する事のないよう、職員一同知恵を絞って努力致します。

今年度はなごみ福祉会が40周年を迎えましたが、夢花工房もあゆ工房の分場から独立して、ちょうど10年を迎えました。その間に様々な利用者様、そのご家族、職員、地域の方との出会いがあり、今に至ります。私自身10年前はお隣の建物で児童期の方達の支援に従事しておりました。その頃そちらで支援をしていたお子さんが、立派に高等部を卒業し今度は夢花工房で関わらせていただく事がここ数年増えて参りました。月日が過ぎるのは本当に早いものです。これからは沢山の方に支えられながら、この地域で必要とされる施設であり続けたいなと心より思います。

今年度も職員一同、どうぞよろしくお願いたします。

文・長島



▲五月飾りの人気品「鯉のぼり」

福祉会内での大きな変化もあれば、夢花事業部においてはなごみ生活ホームの一部移転もあります。そうした身近な出来事に関心が向いてしまい、少し見過ごしてしまいがちですが、今年度は、障害福祉サービス等報酬改定があります。

内容について生活介護を例にざっくりまとめると、基本報酬が下がり、重症心身障害等への対応についての加算が大幅にあがります。ここから重度化・高齢化に対応するため、医療的ケアを行える体制を進めてほしいという国の意図がみとれます。

ドリーム

今年度の日中一時支援ドリームは、新しく作業療法士のスタッフが配属されることになり、作業療法士4名体制になります。そのため、従来のドリームが提供してきた支援のかたちを大事にしつつ、作業療法を用いた支援も取り入れ、サービスの内容を豊かなものにしていきます。

ヘルパーステーション

今年度のヘルパーステーション夢花については、引き続きコロナ禍の状況を見極めながらそのなかで利用者の余暇活動の充実させるサポートをしていきます。